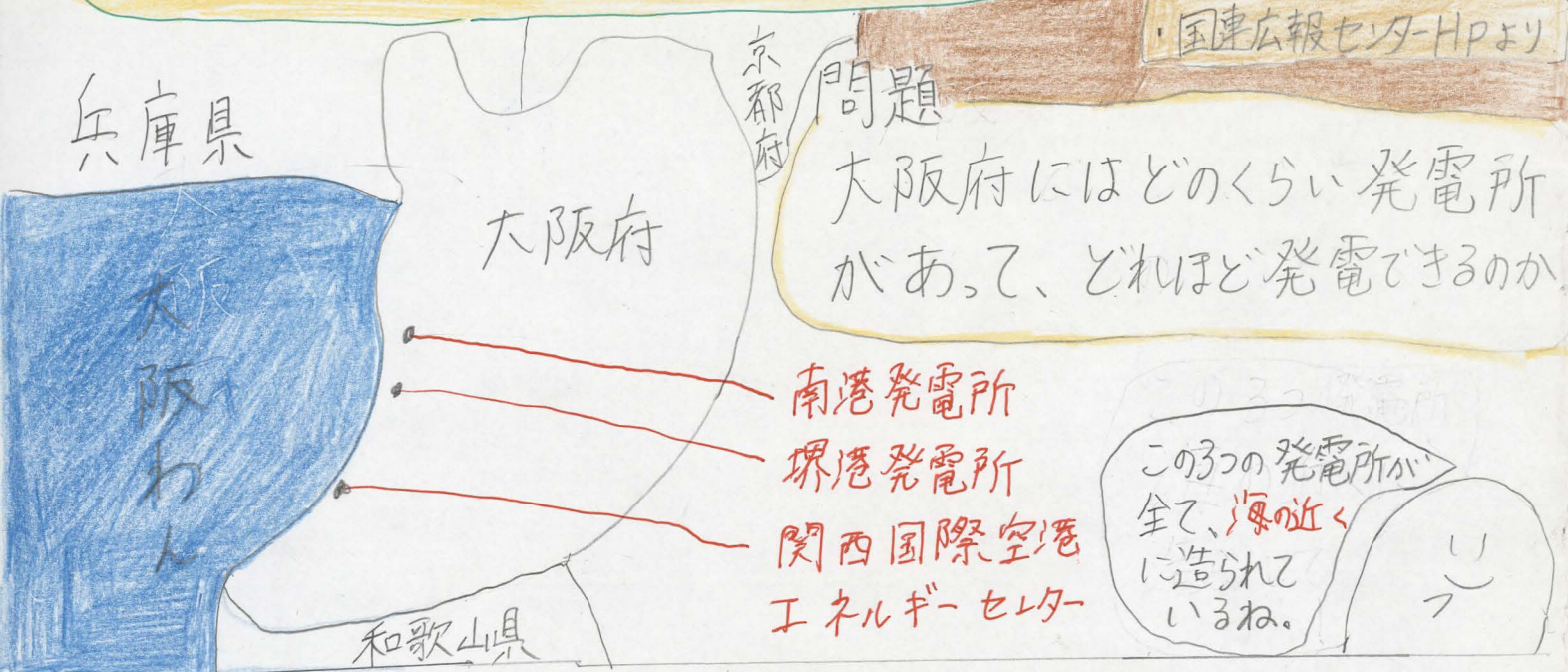


大阪だけで発電できる？

参考引用元
関西電力HP
国連広報センターHPより

にしご新聞

発行者
尾市立高安西小学校
5年 西郡ゆうま



今、日本は、日常生活の中で、エネルギーを活用して、物事をしています。しかし、エネルギーには良い点と悪い点があります。例えば、数少ない資源を限りなく使うと、ごんどん地球の自然がうばわれて、動物の住むところが無くなったりします。こんなことになると人々の生活はどう変化するか調べました。



まず、大阪府には、火発電所が3つあります。南港発電所、堺港発電所、関西国際空港エネルギーセンターの3つです。1つの都道府県の中に3つ発電所あるのはめずらしいそうです。

堺港発電所は最大200万kw発電することができます。これは、ぼくたちのような「一般家庭」の約70万世帯の電力に相当します。大阪府の世帯数は約435万世帯なので、この世帯数にはとどきませんが、全体の6分の1ほどの発電力なので、とても重要な発電所であることが分かりました。

文章中のキーワード

- 温室効果ガス
意味 地球の大気というところにおいて、太陽からの熱を閉じこめて、地球を暖める働きをもつ気体。(目に見えないもの) 増えすぎると地球温暖化の原因になる。
- 原子力発電
意味 原子力というものの利用した発電のこと。熱エネルギーで水じょう気を作り、発電機で回転させて発電する方法。

今の発電方法で主流なのは、石炭や、石油などをもやして発電する「火力発電」です。この方法は、原料の石炭などがあれば安定して発電することのできる長所があります。ですが、もやしたときに出る、「二酸化炭素」という、世界的な課題である「地球温暖化」につながるものがでてしまう短所があります。他には、二酸化炭素を出さない原子力発電や、水力発電があるのですが、水力発電とちがって、天候や季節に左右されたり、他の危険性があったり、火力発電に比べると部分があります。そこでこう思う人もいます。

別に火力発電だけでいいのでは？
地球がちょっと暑くなるだけだし、
理由があまりありません。

原料をほぼ輸入にたよっている

火力発電の原料の石炭や石油は、日本では採ることができません。なので、輸入にたよっています。なので輸入している国に問題が起きてしまうと輸入できなくなってしまう、電力が不足してしまうかもしれません。

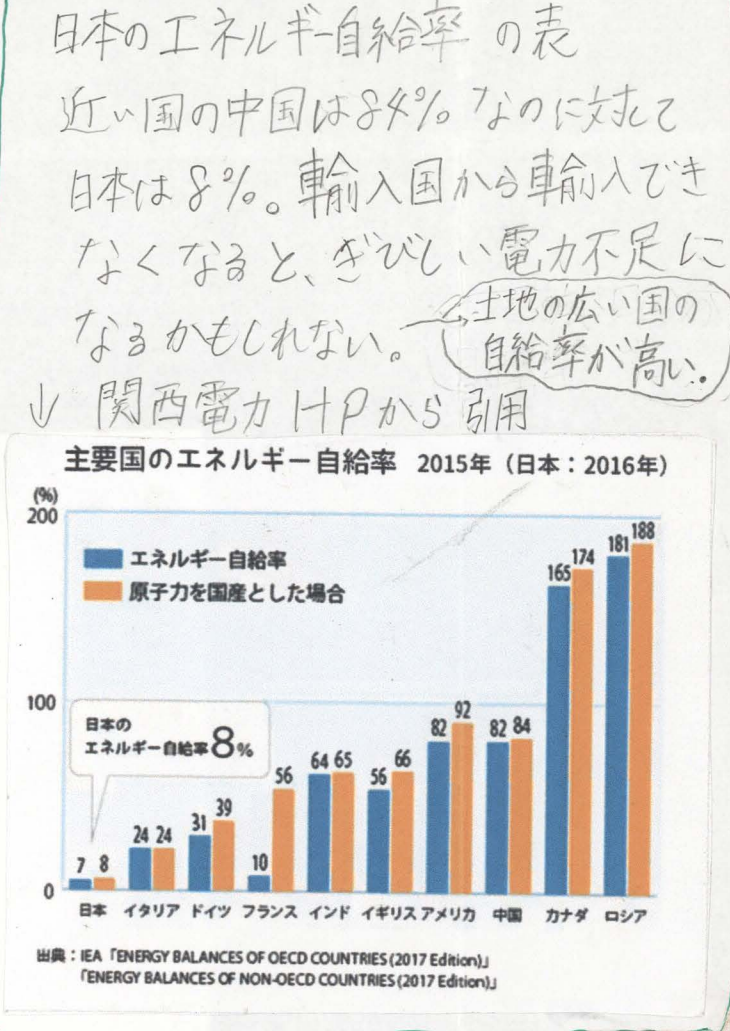
石油: 約54年分
石炭: 約139年分 (使える量)

この2つ採れない!!

原料である石炭などが無くなってしまうことも考えられます。これらには限りがあります。石油がとれる量(確認可採埋蔵量)のデータでは約50年で無くなるとあります。

ぼくたちが今、できること

- 徒歩で移動してみる
- 徒歩などで移動すると、ガソリンを節約できたり、地球温暖化のものとの温室効果ガスの量がへり、もっと健康になることができます。バスや電車を活用するのもいいと思います。
- 野菜を多く食べる
- 野菜、豆類を多く食べてみましょう。
- 自分の健康も良くなるほかに、かんきょうを守ることにつながります。
- すぐに物をすてない
- ぼくたちの手元にとどくまでにたくさん人の時間であったり、炭素というものが



火力発電で発電のときや、何かをもやしたときに出る二酸化炭素。では実際、地球温暖化によって、人々にどんな被害をもたらすのでしょうか？

海水が増え、陸地が減る

南極などにある氷河がとけてしまっています。とけると海水が増え、低い土地(ツバルなど)がしずんでしまうかもしれません。また、氷河などにくらしていた動物がくらせなくなり数を大きくへらしてしまします。

食糧が少なくなる

気温が変わってしまう

ことで果物がいたんだり田んぼがかわき、さってしまうことがおきます。お米や野菜のとれる量が少なくなること、人々の食料や動物の食料も少なくなり、みるみる変わってしまうとおそれがあります。

↓ 地球温暖化によってあたり前のことができなくなるかもしれない!!

中古品を買ったり、修理できるものは、修理してめたり、ごみが出ないようにすることが大切です。

↓ 少しでも何か始めることが大事です。

まとめ

地球温暖化によって今まであったり前だったことができなくなることが、できることを少しずつ進めていくことが大切である。

クイズ (文章の中で答えがあるよ)

① 日本の発電方法で一番発電が多いのは

A. 火力発電 B. 水力発電
C. 地熱発電 D. 原子力発電

② 地球温暖化の対策として正しいものを全て選ぼう。

A. すぐに物をすてて新しい物を買う。
B. 修理して長く物を使う。
C. 歩いて家まで帰る。
D. 野菜中心の生活にする。